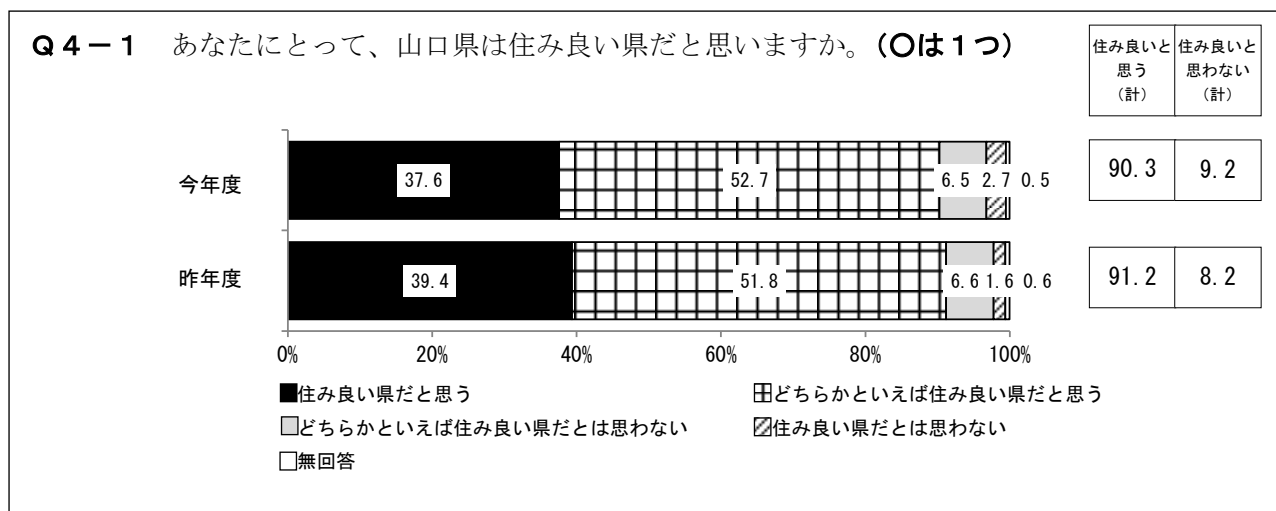


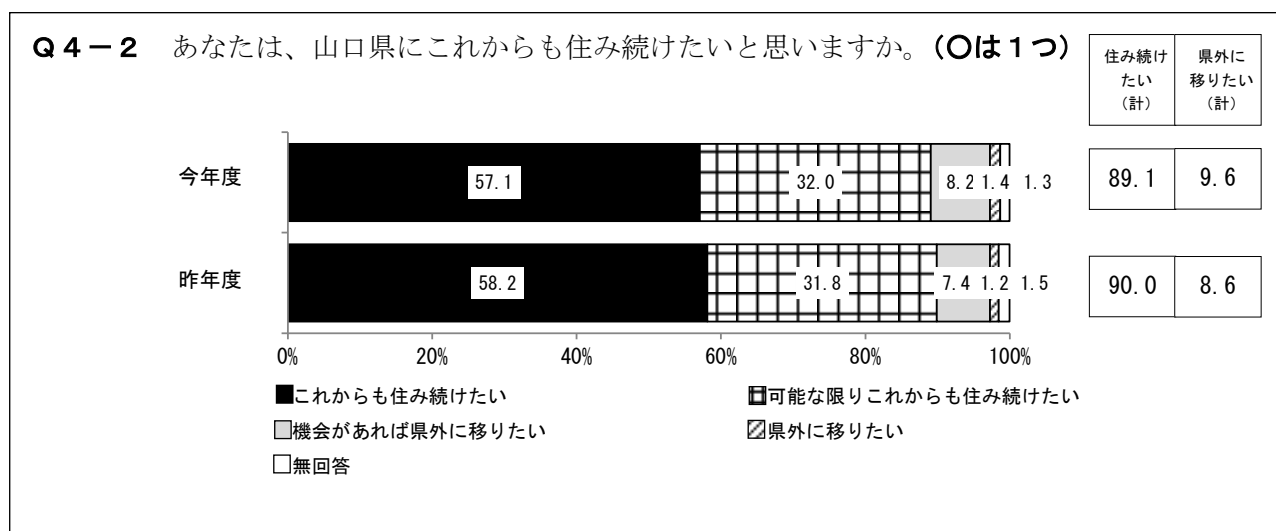
4. 県の取組に対する実感

4-1. 山口県の住み良さ



山口県の住み良さについて、「住み良い県だと思う」と「どちらかといえば住み良い県だと思う」を合わせた『住み良いと思う (計)』は90.3%、「住み良い県だとは思わない」と「どちらかといえば住み良い県だとは思わない」を合わせた『住み良いと思わない (計)』は9.2%となっており、昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

4-2. 今後の山口県への居住意向

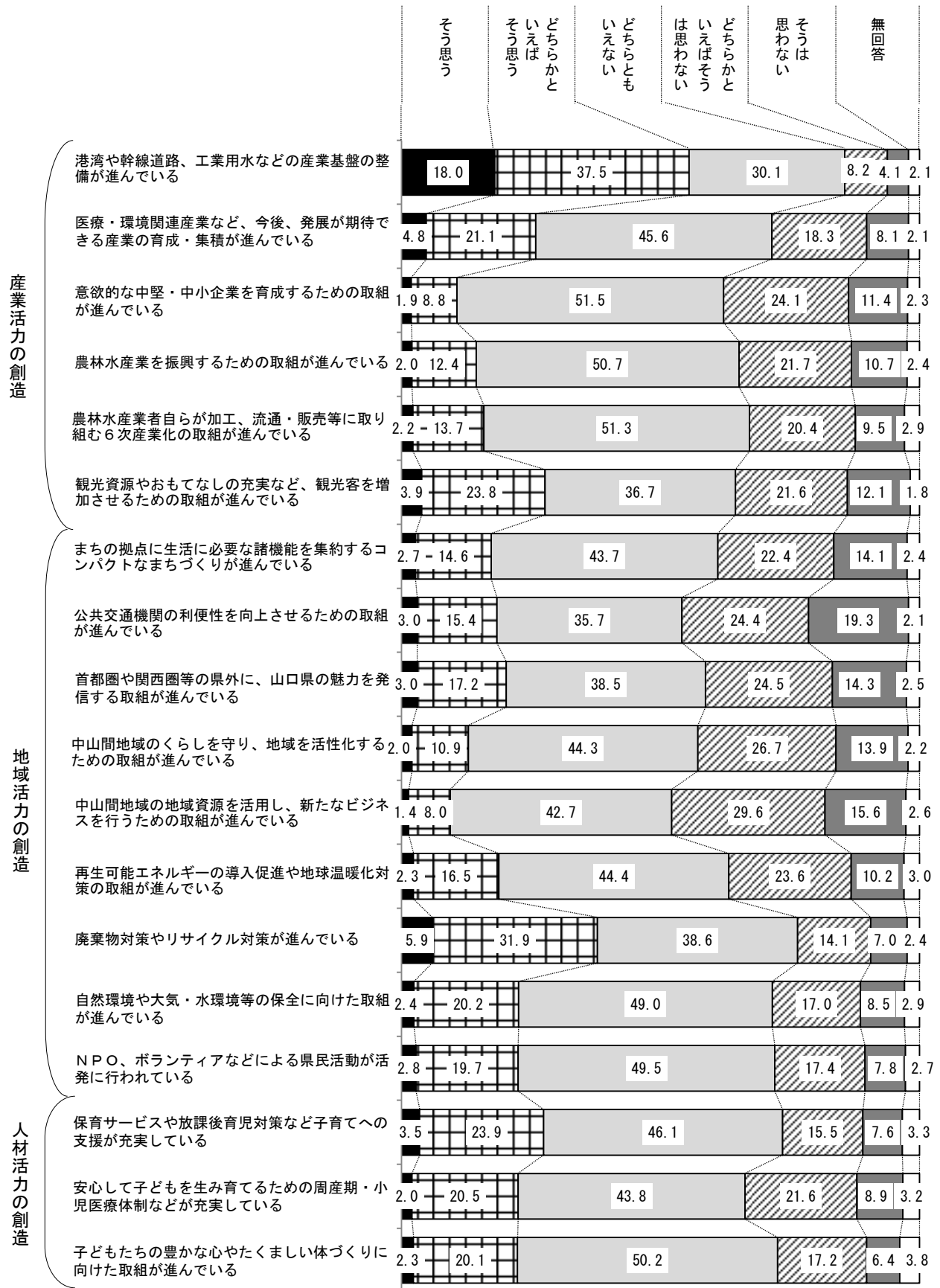


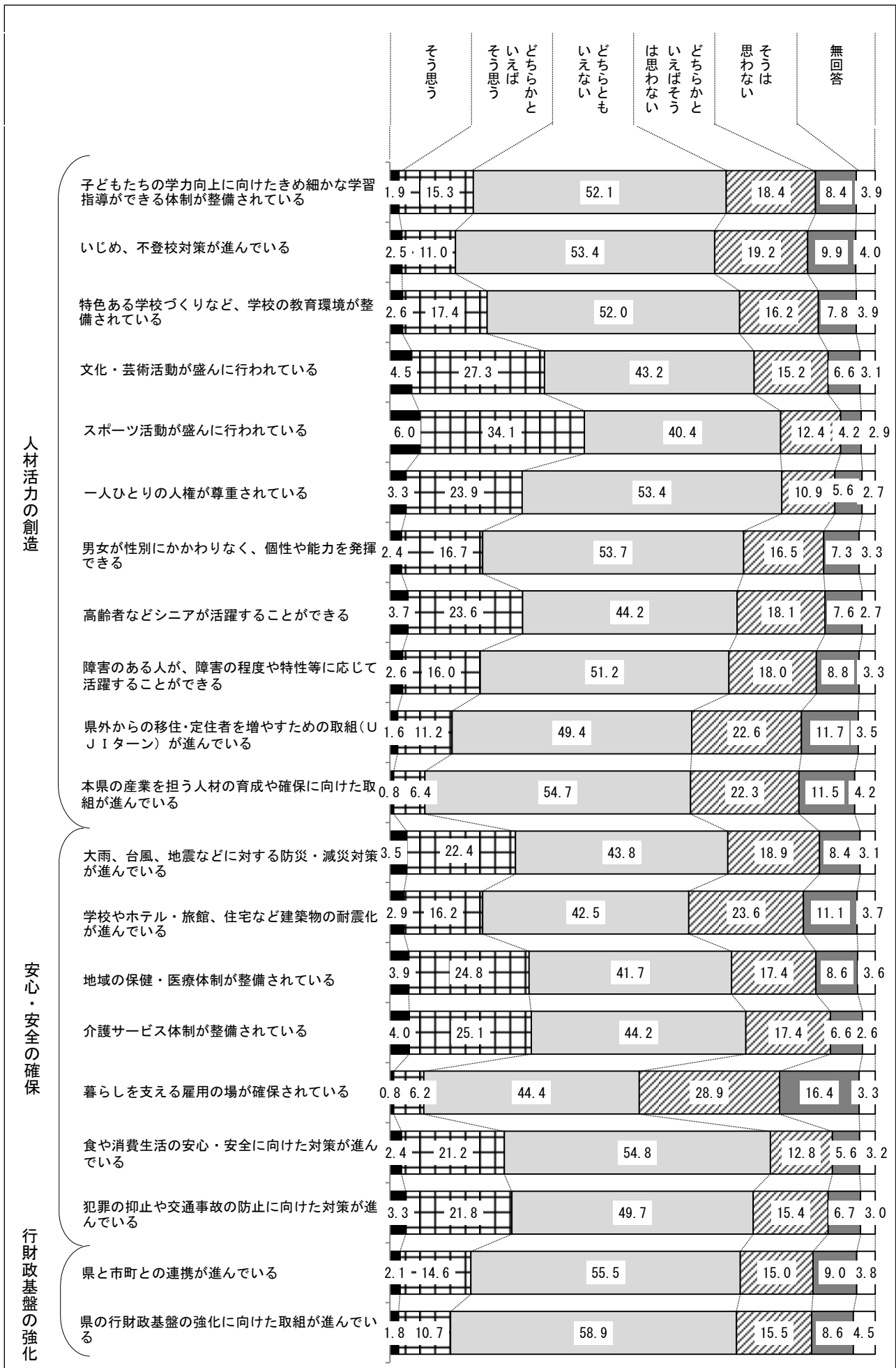
今後の山口県への居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい (計)』は89.1%、「県外に移りたい」と「機会があれば県外に移りたい」を合わせた『県外に移りたい (計)』は9.6%となっており、昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

4-3. 県の取組に対する実感

Q4-3 次の各項目におけるあなたの実感についておたずねします。

いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)





県の取組に対する実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う(計)』の割合は、【産業活力の創造】分野の、「港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる」(55.5%)、【人材活力の創造】分野の、「スポーツ活動が盛んに行われている」(40.1%)で4割を超えている。

反対に、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない(計)』の割合は、【安心・安全の確保】分野の、「暮らしを支える雇用の場が確保されている」(45.3%)、【地域活力の創造】分野の、「中山間地域の地域資源を活用し、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる」(45.2%)、「公共交通機関の利便性を向上させるための取組が進んでいる」(43.7%)、「中山間地域の暮らしを守り、地域を活性化するための取組が進んでいる」(40.6%)で4割を超えている。

＜県の取組に対する実感上位10項目＞

【思う】の割合が高いもの （「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）		
	分野	割合
港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	産業活力の創造	55.5%
スポーツ活動が盛んに行われている	人材活力の創造	40.1%
廃棄物対策やリサイクル対策が進んでいる	地域活力の創造	37.8%
文化・芸術活動が盛んに行われている	人材活力の創造	31.8%
介護サービス体制が整備されている	安心・安全の確保	29.1%
地域の保健・医療体制が整備されている	安心・安全の確保	28.7%
観光資源やおもてなしの充実など、観光客を増加させるための取組が進んでいる	産業活力の創造	27.7%
保育サービスや放課後育児対策など子育てへの支援が充実している	人材活力の創造	27.4%
高齢者などシニアが活躍することができる	人材活力の創造	27.3%
一人ひとりの人権が尊重されている	人材活力の創造	27.2%

【思わない】の割合が高いもの （「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」の合計）		
	分野	割合
暮らしを支える雇用の場が確保されている	安心・安全の確保	45.3%
中山間地域の地域資源を活用し、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	地域活力の創造	45.2%
公共交通機関の利便性を向上させるための取組が進んでいる	地域活力の創造	43.7%
中山間地域の暮らしを守り、地域を活性化するための取組が進んでいる	地域活力の創造	40.6%
首都圏や関西圏等の県外に、山口県の魅力を発信する取組が進んでいる	地域活力の創造	38.8%
まちの拠点に生活に必要な諸機能を集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	地域活力の創造	36.5%
意欲的な中堅・中小企業を育成するための取組が進んでいる	産業活力の創造	35.5%
学校やホテル・旅館、住宅など建築物の耐震化が進んでいる	安心・安全の確保	34.7%
県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターン）が進んでいる	人材活力の創造	34.3%
再生可能エネルギーの導入促進や地球温暖化対策の取組が進んでいる	地域活力の創造	33.8%
本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	人材活力の創造	33.8%